

(公財) 日本体操協会

令和3年度 第3回理事会議事録

1. 日 時 令和3年12月16日(木) 18時00分～19時33分

2. 場 所 Web 会議

3. 出席者 <理事・監事>

藤田直志(会長)、具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、
長谷川洋子(副会長)、荒木達雄(副会長)、山本宜史(専務理事)、
遠藤幸一(常務理事)、水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、
竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、米田功(常務理事)、
岩瀬史子(常務理事)、田野辺満(常務理事)、曾我部 美佳(常務理事)、
萩原智子(理事)、加藤裕之(理事)、川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、
北川(八木)タミー(理事)、田坂利明(理事)、橋爪みすず(理事)、
高橋史安(監事)、小河原慶太(監事)

理事 22 名 監事 2 名

<関係者>

守永直人(事務局長)、渡邊 榮(事務統括)、
立花泰則(情報医科学アンチドーピング委員長)、伊藤由美子(一般体操委員長)

4 名

4. 議題

- | | |
|---------|---|
| 審議事項 1 | 2022-2024 次期強化本部長選任について |
| 審議事項 2 | 女子体操ナショナル強化本部員(2022年1月～2022年3月まで) |
| 審議事項 3 | 女子体操強化本部の新体制について ①②③④ |
| 審議事項 4 | 新体操 2021-2024 年度強化本部員(案) |
| 審議事項 5 | 2021 新体操トライアウト(ジュニア)(案) |
| 審議事項 6 | 優秀審判員表彰の推薦について |
| 審議事項 7 | 体操男子 全国ブロック選抜 U-12 大会適用規則、中学校(U-15)適用規則一部改定について |
| 審議事項 8 | トランポリン審判員 申請未登録者の扱いについて |
| 審議事項 9 | ダブルミニトランポリンの審判資格について |
| 審議事項 10 | 令和3年度 協会三賞表彰候補者の件 |
| 審議事項 11 | スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査における規程等の変更に
おいて |
| 審議事項 12 | 情報医科学アンチドーピング委員の追加(第4四半期から)について |

報告事項 1	2021 世界体操新体操選手権大会報告
報告事項 2	オークションについて
報告事項 3	男子体操 2021 年度冬季ナショナル強化合宿について
報告事項 4	男子体操 第 76 回全日本個人総合トライアウト実施について
報告事項 5	新体操フェアリージャパン POLA 選手引退について
報告事項 6	審判員に対するコンプライアンス研修会実施報告について
報告事項 7	二木英徳名誉会長特別褒賞
報告事項 8	(公財) 日本体操協会公認 一般体操指導員養成講習会
報告事項 9	(公財) 日本体操協会公認 「高齢者体操指導員資格」 養成講習
報告事項 10	第 1 回地域委員会・ブロック代表合同会議の報告
報告事項 11	全日本団体戦 SNS 展開ビジュアル
報告事項 12	インターネット放送 スポーツブル実施
報告事項 13	選手データシステムの始動

5. 藤田会長ご挨拶

年末を迎えた。今年はオリンピック、北九州での体操・新体操の世界選手権、アゼルバイジャンでのトランポリン世界選手権と大きなイベントが続いた。
 コロナの対応などで大変なことも多々あったが、それぞれの大会は大きく賑わった。
 日本体操協会として体操を通じて貢献できるよう行動していきたい。

6. 議長選出

定款 38 条の定めにより、議長は、藤田直志会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席 22 名で定款 39 条の定足数に達している。

8. 議事録署名人

定款 43 条にしたがい、藤田会長及び及び遠藤常務理事、後藤常務理事 高橋監事、小河原監事が議事録署名人になることが説明され、全員異議なく承認された。

9. 議事

審議事項 1 2022-2024 次期強化本部長選任について

議長の指名により、荒木達雄役員選定委員長である副会長は下記の説明を行った。

役員選定会議にて選考を進めた。各競技の世界選手権があったため世界選手権終了までを任期としていた。
 体操・新体操は前回常務理事会で決まっていたが、トランポリンが 11 月に終わったのでこの場で提案をする。
 男子トランポリンの中田大輔本部長は任期満了につき終了。後任人事を継続的に体制も含めて検討を重ねていくこととし、後任人事が決まるまでは山本専務理事が預かることとする。

女子トランポリンは丸山章子本部長が継続し、パリ五輪終了までを任期とする。

特に、意見もなく、審議事項 1 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 2 女子体操ナショナル強化本部員（2022 年 1 月～2022 年 3 月まで）

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

強化本部員を 10 名選抜した。

田中光・瀬尾京子・田野辺満・大野和邦・立松沙希・塩山勝・山崎隆之・新竹優子・守屋舞夏・神崎俊

特に、意見もなく、審議事項 2 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 3 女子体操強化本部の新体制について ①②③④

議長の指名により、田中光強化本部長は下記の説明を行った。

コンセプトは 1.強化本部組織の強化、2.ジュニア世代の強化、3.各強化カテゴリー間の連携とする。

ナショナル強化スタッフとして田中光を本部長、副本部長に瀬尾京子、大野和邦、田野辺 満とする。

ジュニア強化部のジュニア部長を大野和邦とする。

強化選手のカテゴリー変更を行う。新体制ではジュニア強化部は U-15 のみを担当し、ナショナル強化部は、ナショナル強化選手・種目別強化選手と U-20 強化選手のカテゴリーとする。

新体制への移行は大会スケジュールに合わせて移行する。

強化スタッフは 1 月より新体制へ移行する。ジュニア強化は 4 月から新体制。

山本専務 所属コーチの分け方はどのようにするのか？村上茉愛アドバイザーの動き方について知りたい。ナショナル強化選手の切替は 4 月から？

田中本部長 切替は 4 月から。コーチの分け方は本部長が選手決定後に検討して決定する。村上は今後の為に色々経験してもらい、意見を言ってもらおう立場。

山本専務 村上は今後日体大でコーチをするのか？

田中本部長 現時点ではその様にコーチとして働くと聞いている。

以上の後、審議事項 3 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 4 新体操 2021-2024 年度強化本部員（案）

議長の指名により、曾我部美佳新体操強化副本部長は下記の説明を行った。

9 名を提案。5 名が継続、4 名が新規となる。村田本部長では日本で強化したい意向。ロシアの経験がある人を採用。地方部員を今後入れて協力してもらう予定。

特に、意見もなく、審議事項 4 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 5 2021 新体操トライアウト（ジュニア）（案）

議長の指名により、曾我部美佳新体操強化副本部長は下記の説明を行った。

1 次選考を終了している。ジュニアはオンライン講習を行ってきた。本部員が地方に行きトライアウトを行う予定。選手選抜と学びの場としたい。

2 月に 3 か所実施する。

藤田会長 リアル開催は素晴らしいがコロナ対策を怠らないように。

以上の後、審議事項 5 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 6 優秀審判員表彰の推薦について

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

平成 28 年に制定された審判員表彰。

2021 年度は近藤昌夫、梅田秀一、高橋洋子を推薦する。

特に、意見もなく、審議事項 6 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 7 体操男子 全国ブロック選抜 U-12 大会適用規則、中学校 (U-15) 適用規則一部改定について

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

U-12,U-15 の適用規則を FIG 規則の改正に合わせて修正したい。主な改定は跳馬価値点を変更。特別要求の追加。加点項目の明確化になる。

特に、意見もなく、審議事項 7 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 8 トランポリン審判員 申請未登録者の扱いについて

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

トランポリンは当協会加入前からの運用を踏襲して前年度未登録者は資格失効としてきたが、登録意思のある審判員をなるべく救済できるように、体操、新体操と同じく前年度未登録者は資格保留とし、保留解除手続き（登録申請）によって資格を継続する扱いとしたい。

特に、意見もなく、審議事項 8 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 9 ダブルミニトランポリンの審判資格について

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の説明を行った。

ダブルミニトランポリンの審判が少ないため、審判が集まりづらい。FIG に合わせてトランポリン審判がダブルミニもできるようにしたい。

遠藤常務 審議が承認されれば、認定規程を変更したい。

以上の後、審議事項 9 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 10 令和 3 年度 協会三賞表彰候補者の件

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

事前資料に追加して二木英徳名誉会長を平沼賞に推薦したい。それ以外は各ブロックを含めた推薦。

三賞は一度のみの受賞となる。栄光賞はまだ受けていない方が候補者となる。

感謝状は 4 年サイクルでの多大な協力企業に感謝状を贈る。

特に、意見もなく、審議事項 10 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 11 スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査における規程等の変更において

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

適合審査について不十分なところの規程変更。役員の定年に関する規程、競技者規程、公益通報者保護規程、倫理規程を要請に従って改定。

特に、意見もなく、審議事項 11 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 12 情報医科学アンチドーピング委員の追加（第 4 四半期から）について

議長の指名により、立花泰則情報医科学アンチドーピング委員長は下記の説明を行った。

ドクターを追加したい。北村大也医師を追加したい。パルクール経験者なので、会場ドクターとして協力が可能。

特に、意見もなく、審議事項 12 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

報告事項 1 2021 世界体操新体操選手権大会報告

議長の指名により、守永直人事務局長は下記の説明を行った。

体操は 61 か国計 825 名の参加。入場者数各日 2000 名を超える入場者数であった。視聴率及び新体操の数字は資料の通り。

報告事項 2 オークションについて

議長の指名により、守永直人事務局長は下記の説明を行った。

大会の意義を高めるためオークションを実施。

医療従事者への寄付。器具の寄付。海外への寄付。をする。

出品物はオークション意義を話し、同意いただいた選手たちから集めた物品を提出する。

報告事項 3 男子体操 2021 年度冬季ナショナル強化合宿について

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

冬季ナショナル合宿を 3 回計画している。

第 5 回は講習中心。第 6 回は課題中心。第 7 回は試技会開催

報告事項 4 男子体操 第 76 回全日本個人総合トライアウト実施について

議長の指名により、水鳥寿思強化本部長は下記の説明を行った。

トライアウトを上越ジムリーナにて 3 月実施する。新ルールに合わせて行う。

報告事項 5 新体操フェアリージャパン POLA 選手引退について

議長の指名により、曾我部美佳強化副本部長は下記の説明を行った。

皆川夏帆、杉本早裕吏、松原理恵が引退する。皆川、杉本は強化本部員になる。

報告事項 6 審判員に対するコンプライアンス研修会実施報告について

議長の指名により、後藤洋一委員長は下記の説明を行った。

新体操女子審判を 11 月 27 日に、体操審判を 12 月 12 日に実施した。

グループ討論やコンプライアンス講習を行った。

採点ミスなど具体的な対応など研修した。

報告事項 7 二木英徳名誉会長特別褒賞

議長の指名により、遠藤幸一委員長は下記の説明を行った。

二木英徳名誉会長から橋本大輝選手に 300 万円、村上茉愛選手に 200 万円の特別褒賞がおくられる。褒章授与は 1 月 21 日を予定。

報告事項 8 (公財) 日本体操協会公認 一般体操指導員養成講習会

議長の指名により、伊藤由美子一般体操委員長は下記の説明を行った。

一般体操指導員養成講習会を 9 月 18、19 日に日体大世田谷キャンパスで行った。41 名の合格者であった。

報告事項 9 (公財) 日本体操協会公認 「高齢者体操指導員資格」養成講習

議長の指名により、伊藤由美子一般体操委員長は下記の説明を行った。

高齢者体操指導員資格要請講習を 11 月に開催した。13 名の合格者であった。

報告事項 10 第 1 回地域委員会・ブロック代表合同会議の報告

議長の指名により、田野辺満地域委員長は下記の説明を行った。

11月13日に佐賀県で会議を行った。
全国代表者連絡会議については、ハイブリッド方式の開催の意見が多かった。
U-12大会については、選考トラブルがあった。神奈川で予定人数より1名多い選考をしてしまった。
コロナ禍での国体選考について、7月の予選の確認を行った。
国体国スポについて、10月に開催したいと意見があった。
トランポリン普及が進んでいないとの報告があった。今後の対策を検討する。
障がい者体操の部会が出来てから4年目となった。障がい者大会開催計画を立てたい。
インカレが一部予定地が変更となる可能性がある。

報告事項 11 全日本団体戦 SNS 展開ビジュアル

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

12月の全日本体操団体選手権の大会告知用に SNS で展開した大会ビジュアルを紹介する。

報告事項 12 インターネット放送 スポーツブル実施

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

12月の全日本体操団体選手権ではスポーツブルを使ってネット放送を行った。

報告事項 13 選手データシステムの始動

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

過去の成績等集めて、4月に向けて準備を進めている。

その他

山本専務 2月の全国代表者連絡会議はコロナの事もあるので、リモートで進める予定。

議長は、すべての議案の終了を確認し、19時33分に閉会を宣言した。

令和3年12月16日

議 長 藤 田 直 志

議事録署名人 遠 藤 幸 一

後 藤 洋 一

出席監事 高 橋 史 安

小河原 慶 太